

一般社団法人

# 日中科学技術交流協会

JAPAN—CHINA SCIENCE  
AND TECHNOLOGY  
EXCHANGE ASSOCIATION  
(JCSTEA)

## ご案内

2019年6月

〒103-0003

東京都中央区日本橋横山町3-1

横山町ダイカンプラザ 302号室

電話 090-7629-6260

E-mail: jcstea2019@gmail.com

URL: <http://jcst.in.coocan.jp/index.html>

都営新宿線 馬喰横山 徒歩2分

JR総武快速線 馬喰町 徒歩2分

都営浅草線 東日本橋 徒歩4分

日比谷線 小伝馬町 徒歩5分

## 役員

### 会長

有山正孝(電気通信大学名誉教授・元学長)

### 副会長

藤崎聡達(東大名誉教授,元南京大学招聘教授)

山脇道夫(福井大学特命教授,東大名誉教授)

### 業務執行理事

紺野大介(ETT 理事長、清華大学招聘教授)

永崎隆雄(元 JAEA 北京事務所所長)

### 理事

岡田雅年(瀋陽金属研究所名誉教授、元金属材料  
技術研究所所長)

鈴木基之(放送大学教授、東京大学名誉教授、  
国連大学元副学長)

山岡亜夫(千葉大学名誉教授)

近藤昭彦(千葉大学教授)

曾我文宣(医用原子力技術研究振興財団調査参  
与, NPO 国際総合研究機構副理事長)

中河正勝(元日立上海工場長、KJSnet 理事長)

### 監事

益田隆司(電気通信大学名誉教授・元学長)

伊藤学(東京大学名誉教授)

### 名誉会員

有馬朗人(東京大学元学長、元文部科学技術大臣)

## 設立の趣旨と沿革

長い文化交流の歴史を持つ一衣帯水の国、日本と中国の関係は、20世紀前半の悲しむべき戦争の期間中、断絶状態にありました。戦後、両国間の学術・文化の交流を速やかに復活させようとする努力は、両国間の国交正常化に先立って1950年代半ばから、日本学術会議・日中友好協会などによって始められました。科学技術の分野でこの運動の中心となったのは茅誠司先生・朝永振一郎先生をはじめとする当時の日本学術会議会員の方々でした。途中で紆余曲折はあり

ましたが、志を同じくする人々によって細々と始められた科学者・技術者の派遣・交流を通じて、相互の理解と友好が徐々に、しかし着実に深められました。

日中科学技術交流協会は、これら交流の先駆者により、日中間の学術交流を一層確実にするための中核となることを目指して1977年12月に設立されました。

以来四半世紀にわたって当協会は多くの科学者・技術者を中国に送りまた中国から受入れ、多くの学術的講演や日中合同のシンポジウムを企画・開催する等の活動を続けてきました。

この間、当協会が最も密接な連携を保ってきた中国側の機関は中国科学院ですが、必要に応じて中国国家科学技術委員会、国家教育委員会、中国科学技術協会等、及びそれらの傘下の諸学会・大学・研究機関とも交流関係を持ってきました。また駐日本国中国大使館の科学技術処・教育処からもご助言・ご支援をいただいております。

中国における科学技術の水準の急速な向上と開放政策の進展の結果、両国間の科学技術交流のあり方は新しい段階を迎えています。

当協会も2006年5月、特定非営利活動法人として認可を受け、体制を新たにし、更に2019年5月に一般社団法人に組織替えを行いました。

私どもは、1977年の設立の対等・互惠の精神を堅持しつつ、その歴史と伝統を基盤に、新しい時代の変化に対応して、広く日中両国民に役立つ新しい一般社団法人活動を行っていく所存です。

## 交流事業の概要

この法人は広く日中両国民を対象に、両国の科学技術交流を強化発展させる事業を行い、両国における科学技術の進歩とこれによる生活環境の改善を図り、以って両国国民の福利と友好親善の増進に寄与することを目的とし、下記の活動を行います。

①学術の振興、②環境の保全、③国際協力、④科学技術の振興

### (1) 科学技術交流事業

日中両国の科学者・技術者の訪中あるいは訪日に際し、情報提供・紹介・推薦・斡旋等の支援を行います。

また科学技術の分野における視察団を企画・派遣し、あるいは受け入れています。

### (2) 科学技術講演会・報告会・研究会・講習会・教育訓練などの開催事業

日中合同のシンポジウムを主催または共催しています。テーマはそれぞれの時期に日中双方にとって重大な関心のあるものを選んでいきます。規模は様々で参加者数 30 名程度のものから 200 名余に及ぶものもあり、会期は概ね 2~3 日です。

その他にも小規模のシンポジウム・講演会等を随時主催・共催あるいは後援しています。また訪中視察団を随時企画し派遣しています。

### 近年の活動

- 1) 第 1 回金属及び核資源利用における化学・材料フロンティア討論会(南寧) 2018 年
- 2) 第 14 回先進エネルギー材料(仙台) 2018 年
- 3) 第 14 回信号処理国際会 2018 年
- 4) 第 4 回中日核燃料サイクル 2017 年
- 5) 第 13 回信号処理 2016 年
- 6) 第 13 回先進エネルギー材料 2016 年
- 7) 上海応用物理研究所交流 2015 年
- 8) 第 12 回信号処理(ICSP) 2014 年
- 9) 第 12 回先進エネルギー材料 2014 年
- 10) 第 2 回環境水処理シンポジウム 2014 年
- 11) 第 4 回日中電子材料シンポジウム 2014 年
- 12) 第 2 回日中大学間核燃料討論会 2013 年
- 13) 第 1 回日中加速器科学討論会 2013 年
- 14) 第 3 回日中電子材料シンポジウム 2013 年
- 15) 第 3 回諸言語の音調国際討論会 2012 年
- 16) 広東省環保庁と核安全防災交流 2012 年
- 17) 信号処理国際会議 ICSP2012 2012 年
- 18) 第 11 回先進エネルギーシステム材料と核分裂・核融合工学 日中シンポジウム(共催) 2012 年
- 19) 第 2 回日中電子材料シンポジウム 2011 年
- 20) 福島原発事故の意見交換訪中団 2011 年
- 21) 精密加工・水処理技術移転訪中団 2011 年
- 22) 第 1 回日中電子材料シンポジウム 2010 年
- 23) 第 10 回先進エネルギーシステム材料と核分裂・核

- 融合工学 日中シンポジウム(共催) 2010 年
- 24) 重慶大学来日 2010 年
- 25) 海南島科学技術部訪中団 2010 年
- 26) 深圳市科学技術庁 来日交流 2009 年
- 27) 科学院招待青年訪中団 2009 年
- 28) 広東省科学技術庁来日 2009 年
- 29) 上海科学技術協会来日交流 2009 年
- 30) 香港專業教育学院 来日交流 2009 年
- 31) 中国原子力メーカ実態調査団 2009 年
- 32) 黒龍江省水利庁と交流(共催) 2008 年
- 33) AEARU Joint Workshop ICASS07 International Collaboration for Asian Sustainable Society 南京・無錫 2007 年
- 34) 第 9 回先進エネルギーシステム材料と核分裂・核融合工学 日中シンポジウム(共催) 桂林 2007 年
- 35) 上海・合肥原子力機関交流団 上海・合肥 2007 年
- 36) 北京エネルギー関係研究所交流団 北京 2007 年
- 37) Eco-Design(清華大共催) 北京 2006 年
- 38) 信号処理国際会議(共催) 桂林 2006 年
- 39) 中日科学技術セミナー 東京 2006 年
- 40) 協会 NPO 法人設立訪中団 北京、上海 2006 年
- 41) 中国の環境・エネルギー問題と日中協力展望セミナー 東京大学 2006 年
- 42) 第 2 回日中環境シンポジウム(主催) 貴陽 2005 年
- 43) 第 8 回「先進エネルギーシステム材料と核分裂・核融合工学 日中シンポジウム」(共催) 東北大学 2004 年
- 44) 循環型社会の創造のための現地調査(主催) 貴陽、北京 2003 年
- 45) 循環型社会の創造をめざして(共催) 北京 2002 年
- 46) 日本バイオテクノロジー科学技術視察交流訪中団派遣(主催) 北京 2002 年
- 47) 清華大学創立 90 周年中日産業協力シンポ(後援) 東京 2001 年
- 48) 蛋白質物理学と水和効果シンポ(主催) 東京 1999 年
- 49) 日中石炭 C1 化学シンポジウム(後援) 蔵王 1998 年

### (3) 科学技術普及事業

- a) 会報「日中科学技術」を年 4 回刊行し会員に配布しています。
- b) 中国から提供された資料の翻訳、シンポジウム報告書等を随時刊行、会員に配布または頒布します。

### (4) 科学技術分野の優良表彰

篤志の方々のご寄付を基金として、中国からの留学生諸君の内、特に優秀な研究業績を挙げた

方々に研究奨励賞とし賞状と副賞 10 万円を贈呈しています。1987 年以来現在までに 2018 年度までの受賞者数は 146 名に達しています。

### (5) その他、目的を達成するための事業

日中合同の科学技術にかかる交流事業で理事会が適当と認めたものを実施／支援します。

## 入会のご案内

本会の趣旨に賛同される方の入会を歓迎します。

### 会員の種別

- |        |                               |               |      |              |
|--------|-------------------------------|---------------|------|--------------|
| 【正会員】  | 個人                            | 特定非営利活動促進法の社員 | 会費年額 | 10,000 円     |
| 【学生会員】 | 学生                            |               | 会費年額 | 5,000 円      |
| 【賛助会員】 | 団体                            |               | 会費年額 | 一口 100,000 円 |
|        | 個人                            |               | 会費年額 | 10,000 円     |
| 【協力会員】 | 日本在住経験を有する中国人                 |               | 会費年額 | 0 円          |
| 【名誉会員】 | この法人に多大の貢献した方又は学識経験者で総会が承認した方 |               | 会費年額 | 0 円          |

### ご入会の特典

- 日中科学技術交流について提案できる。
- 当法人の交流事業に参加できる。
- 会報ほか本会発行資料・刊行物の頒布を受ける事ができる。
- 当法人保有の中国科学技術情報の提供、中国科学技術関係機関への紹介・推薦等の便宜を受ける事ができる。
- 本法人開催シンポジウムその他に会員料金で参加できます。また、連携している他学会、協会、機構の講演会案内が得られる。

### ご入会の申し込み

会員として入会を希望される方は、本会ホームページ:

<http://jcst.in.coocan.jp/>

から入会申込書をダウンロードしてご記入の上、下記 Mail 又は FAX へお申し込みください。理事長より、会員入会承認証と会費お振込み請求をお送りいたします。

宛先 E mail: jcstea2019@gmail.com

FAX :03-3666-6939

090-7629-6260 永崎隆雄